

「加法・減法（正負の数）」テスト練習問題と過去問まとめ

年	組	番	名前
---	---	---	----

【1】基本問題

1. 次の計算をなさい。

問1 $-12 + (-5)$

問2 $-18 + 7$

問3 $-16 - (-5)$

問4 $-6 + (-4)$

問5 $-7 + 15$

問6 $7 - (+12)$

問7 $-15 - (-16)$

問8 $12 - (-12)$



2. 次の計算をなさい。

問1 $-2+7-9+5$

問2 $4+(-6)-3-(-8)$

問3 $5+(-2)+(-9)+5+(-2)$

問4 $-22-(-18)+52+(-11)$

【2】項を答える問題

次の式の項を全て答えなさい。

問1 $-12+5+(-20)-8$

問2 $-5+8+10-4$



【3】少数や分数が含まれる問題

次の計算をなさい。

問1 $+\frac{1}{6} - (-\frac{2}{5})$

問2 $3 - 0.7 - (-0.3)$

問3 $-2 - 1.6 - (-\frac{3}{2})$



「加法・減法（正負の数）」
テスト練習問題と過去問まとめ（解答）

【1】基本問題

1.

問1 -17

問2 -11

問3 -11

問4 -10

問5 8

問6 8

問7 1

問8 24



2.

問1 1

問2 3

問3 -3

問4 37

【2】

問1 -12、5、-20、-8

【解説】+5など、正の数の項に「+マーク」をつけるかどうか、先生によって教え方が違う場合がある。基本的に、+マークは付けても、省略しても間違いにはならない。しかし、「-マーク」は必ずつける必要があるので注意しよう。

問2 -5、8、10、-4



【3】

問1 【答えと解き方】

$$\begin{aligned} & - \left(-\frac{2}{5}\right) \text{ は、符号を変えて加法に直すので、} +\frac{2}{5} \text{ となる。} \\ & = \frac{1}{6} + \frac{2}{5} \text{ となるので、通分して計算する。} \\ & = \frac{5}{30} + \frac{12}{30} \\ & = \frac{17}{30} \end{aligned}$$

問2 【答えと解き方】

$$\begin{aligned} & - (-0.3) \text{ は符号を変えて加法に直すので、} +0.3 \text{ となる。} \\ & = 3 - 0.7 + 0.3 \\ & = 2.6 \end{aligned}$$

問3 【答えと解き方】

分数と小数が混ざっているときは、どちらかにそろえよう。

【小数を分数に直す場合】

小数点第一位までの小数を分数に直す場合は、10倍したものを分子、10を分母にすればよいので

$$\begin{aligned} & = -\frac{16}{10} \\ & \text{全て通分すると} \\ & = -\frac{20}{10} - \frac{16}{10} + \frac{15}{10} \\ & = -\frac{21}{10} \\ & = -2\frac{1}{10} \end{aligned}$$

【分数を小数に直す場合】

分数を小数に直すには、分子を分母で割ればよいので

$$\begin{aligned} & = -2 - 1.6 + 1.5 \\ & = -2.1 \end{aligned}$$

